

2009年西日本F4シリーズ第6戦 吉田広樹 〈鈴鹿サーキット〉

11月13日 フリー走行 WET→DRY

鈴鹿サーキット西コース

前回の日本一決定戦から2週間のインターバルを挟み、今シーズンの締め括りとなるF4西日本シリーズ最終戦が三重県・鈴鹿サーキットで行われました。ここ2戦は自分のミスで本当に悔しい思いをしてきたので、この最終戦は何としてでも勝ってこのシリーズを締めくくろうと気合十分でサーキット入りしました。しかしこの日は朝から雨が降り続き、コースコンディションはヘビーウェット。予選・決勝が行われる日曜日の天気予報は晴れだったこともあり、無理してこのコンディションを走ることはない判断、午前の走行はコースサイドから他車の走りをチェックします。午後に入り徐々に雨脚も弱まったことから路面も所々乾いてきました。そこでスリックタイヤで走行を開始、中途半端な路面状況だったのでマシンバランスは判りづらかったのですが、ギヤレシオのチャックなども含めて周回を重ねます。最終的に路面もほぼドライとなり1'17, 1をマークしトップタイムでこの日のフリー走行を終えました。



11月14日 フリー走行 WET→DRY

鈴鹿サーキット西コース

フリー走行2日目となったこの日も朝から雨が降り続き、路面はかなりのウェットコンディション。前日同様リスクを減らすため、午前の走行を控えます。2本目に入り徐々に路面が乾いてきたのでまずはレインタイヤでコースイン。周回を重ねると同時に路面状況も良くなってきたのでスリックタイヤに交換。タイムも前日の1, 5秒落ちくらいで走っていたのです

が、マシンバランスを判断できるほど路面状況は好転せず、最後のフリー走行を迎えます。最後のセッションは路面もほぼ完璧なドライコンディションになっていたため、ここで程度のいいタイヤを使用しセットアップを進めます。今回はフリー走行で新品タイヤを使用しなかったため、中古タイヤから予選で新品タイヤを使用したときの動きを想定し、どんどんセット変更を行っていきます。その結果前日のタイムは上回れなかったものの1'17, 7というタイムを記録し、最後のフリー走行をトップで終えることが出来ました。



11月15日 公式予選 DRY

鈴鹿サーキット西コース 3位 (17台中)

前日とは打って変わり、この日は朝から青空の中、予選に向けチームの方とミーティングを行います。セッティングもNE Wタイヤに合わせて変更し、燃料搭載量も必要最低限で押さえます。そして15分の予選が開始されたのですが、この日はこのF4クラスが1番初めの予選となるため、路面状況はあまり良くないと判断しまずはピットでウェイティングします。予選開始から4分ほど経過したところでコースイン。路面温度も低かったため、いつもなら計測2周目からアタックするところを1周余分にタイヤを温めました。計測3周目に照準を合わせてアタックを開始したのですが、クリアラップを取ることが出来ません。毎ラップ他車をオーバーテイクしたり一旦距離を空けるのですが、思うようなアタックをすることが出来ないうま1'17, 258というタイムを刻み、3番手で

公式予選を終えることとなりました。決勝に向け予選周回数を抑えることは出来たのですが、納得の行く走りが出来なかったことが悔やまれます。

Team Naoki

with

LaSalle
LIMEX SPORT

<NO.1>

2009年西日本F4シリーズ第6戦

吉田広樹
〈鈴鹿サーキット〉

11月15日 決勝 DRY 1位 (17台中)

予選後、午後に行われる決勝レースに向け、若干のセットチェンジを行いフォーメーションの時を待ちます。レースのことを考えると季節的にも気温・路面温度がかなり低かったので、レース1周目、2周目のタイヤが冷えている時が勝負だと思い必死でタイヤを温めます。何度もリヤタイヤをホイルスピンさせ、スタートダッシュを狙いグリッドオン。

シグナルレッド、消灯、スタート！！



タイミングもバッチリでホイルスピンも少なく完璧なスタートをきったのですが、前車に行く手を阻まれ並んだまま130へ。そこでしっかりイン側をキープし続くショートカットまでで完璧に捕らえ2番手に浮上します。そこからトップのマシンにベッタリと喰らいつき隙を伺います。2周目のメインストレートでスリッパに入ったのですが、無理はせず後ろから様子を伺います。1周後ろを走ってみて、この選手がブレーキングが甘いことに気付き仕掛けるチャンスを伺っていた2周目のヘアピン、イン側にマシンをねじ込みトップに浮上。そこからはタイヤを使

い切るつもりでプッシュします。そのまま徐々に2位を引き離しにかかり、最終的に6秒弱の差をつけ優勝することが出来ました。

前回と前々回の岡山の悔しい結果もあったので、今回の優勝には正直ホッとしました。レース内容にしても勝負と決めていた1・2周目にトップに浮上することができ、そこから予選と変わらないタイムで安定した走りが出来たと思います。しかしその反面、予選はクリアが取れなかったり、そこで一旦落ち着くこと出来なかったりと今後の課題も残されています。今シーズンのF4はこのレースで最後となりますが、この課題をクリアし、来年のシート獲得に向け全力で頑張りたいと思います。最後に今シーズンこのF4西日本シリーズ参戦に辺り、チャンスを用意してくださった服部さんや、速く、乗りやすいマシンを用意してくださったレプリスポーツの皆様、そしてこのような経済状況の中、支援してくださったスポンサー様やレース関係者の方々、本当に感謝しています。最終的に目標であったシリーズチャンピオンは獲得できず、シリーズランキング2位となってしまいましたが、この1年間で速さやメンタル面、そしてセッティング能力など確実に成長出来たと思います。それと同時に、6年間のレース経験の中で1番充実、成長出来た1年になったと思っております。今年1年間、本当にありがとうございました。今後はしっかりと自分の進路を考え、来年のステップアップを目標に頑張っていきたいと思いますので、引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

TeamNAOKI with LE PRIX SPORT
吉田 広樹



Team Naoki
with
Le Prix Sport
LE PRIX SPORT

<NO.2>